



TITLE:

量子力学における測定と観測の理論について(基研モレキュール型研究会「進化の力学への場の理論的アプローチ」報告,研究会報告)

AUTHOR(S):

牧, 二郎

CITATION:

牧, 二郎. 量子力学における測定と観測の理論について(基研モレキュール型研究会「進化の力学への場の理論的アプローチ」報告,研究会報告). 物性研究 1989, 52(5): 576-576

ISSUE DATE:

1989-08-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/93665>

RIGHT:

マクロ系の量子力学とその周辺

慶大・理工 福田 礼次郎

talkの内容は下記の論文の要約です。詳細は、そちらを御覧下さい。

マクロ系の量子力学と観測の理論

— 作用汎関数停留の原理 —

素粒子論研究 78 巻 3 号 (1988 年 12 月号) 70 ページ

量子力学における測定と観測の理論について

京大・基研 牧 二郎

talkの内容は下記の論文の要約です。

量子力学における測定と観測の理論

素粒子論研究 78 巻 4 号 (1989 年 1 月号) pp 117 ~ 145.

なお、上記論文にたいする補論：

統計演算子の定義について

素粒子論研究 79 巻 1 号 (1989 年 4 月号) pp 1 ~ 6

も併せて御参照下さい。これらをまとめた論文

“ Probabilistic Interpretation and the Quantum Theory of Measurement II ”
(RIFP-808)

はProg. Theor. Phys. 82 No.4に掲載される予定です。